

## 授業科目

## アスレティックトレーナー現場実習

|                |      |    |       |     |
|----------------|------|----|-------|-----|
| 担当教員名<br>柵木 聖也 | 対象学年 | 4  | 対象学科  | スポ  |
|                | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択  |
|                | 単位数  | 4  | 時間数   | 180 |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ◎     | ◎     | ◎  | ◎     |

## 授業の概要

アスレティックトレーナーに必要とされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指すための実習である。

## 授業の目的

アスレティックトレーナーの活動現場に触れ、既に学習してきた知識と技術を現場で実践展開することにチャレンジすると共に、アスレティックトレーナーに対する自らの適性を見極めることを目的とする。

## 学習目標

日体協公認アスレティックトレーナーまたは公認スポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての技術と知識を自分のものとして定着させる。

## 授業計画

| 授業計画・学習の主題                          |
|-------------------------------------|
| 本実習での具体的な学習内容は、下記のとおりである。           |
| (1) 見学実習                            |
| (2) 検査・測定と評価実習                      |
| (3) アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習       |
| (4) スポーツ現場実習（ストレッチング、テーピング、応急処置等）   |
| (5) アスレティックリハビリテーション実習（プログラム作成、実施等） |
| (6) 総合実習                            |

## 使用図書

| 使用図書   | 書名                          | 著者名       | 発行所       | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|-----------------------------|-----------|-----------|-----|----|-----|
| 教科書    | 公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 1～9 | (財)日本体育協会 | (財)日本体育協会 |     |    |     |
| 参考書    |                             |           |           |     |    |     |
| その他の資料 |                             |           |           |     |    |     |

## 評価方法

レポート課題を課すとともに、現地視察および報告会を実施し、それらの結果を判断して評価する。

## 履修上の留意点

上記の内容を、日体協公認ATまたは公認スポーツドクターのいる現場で学習する。単一の施設・組織で完結するのではなく、性格の異なる複数の現場で実習を行うことが望ましい。日体協によって一日の最大学習時間は3時間、一週間の最大学習日数は5日間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であることを念頭に置いて欲しい。

## オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週木曜日の18:00～19:00

連絡先：masegi@nuhw.ac.jp